

当院で実施中の臨床研究について

病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究

研究課題名：「病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究」

研究責任者：名知 祥（岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター 臨床講師）

1. 対象：発生した院外心停止例のうち、救急隊が蘇生処置を行い当院へ搬送された症例
2. 研究機関名：日本救急医学会多施設共同研究
3. 目的：院外心停止例の搬送先病院の治療体制、搬送後の集中治療内容を包括したコホートを確立し、院外心停止例の社会復帰率向上に寄与する適切な治療ストラテジーの検討を目的としています。
4. 方法：院外心停止症例の受け入れ後、症例登録を行い、必要事項を入力します。研究事務局が病院前データ（ウツタインデータ）と院内登録データを連結させ、病院前情報と病院到着後の治療と神経学的予後について調査します。
5. 意義：院外心停止に対する心肺蘇生（一次救命処置、二次救命処置）はAEDの普及も含めてこの10年間でかなりの進歩を遂げましたが、集中治療に関するデータを病院前救護のデータから連結して得た上での議論は、いまだかつてありません。本研究は日本救急医学会が主導し全国規模で蘇生後の社会復帰率をさらに改善するよう検討するという点でも医学的に大変意義深いと考えられます。
6. 個人情報の取り扱い：氏名、生年月日を含む個人を特定できるデータは、症例登録の時点で切り離されるため、症例からさかのぼって個人を特定する事は不可能です。
7. 問い合わせ先：岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター 名知 祥
電話 058-230-6448（岐阜大学救急災害医局）
8. 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法：本研究は介入を必要としない観察研究であるため、症例登録のいかんにかかわらず治療法に影響は全く及ぼしませんが、症例登録すること自体の参加の拒否については、主治医への口頭での意思表示、もしくは電話での意思表示でお伝え頂くことができます。
9. 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反：研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。
10. 研究機関：倫理審査委員会承認日～2023年5月